

「すべての子どもが学びやすい環境づくり」振り返りシート（試案）

～「授業のユニバーサルデザイン化」の視点をふまえて～

- ①・・・「すでに取り組んでいること」は、数字に「○」をしましょう。
 ②・・・「これから取り組みたいこと」に「○」をして取り組みましょう。
 ★必ず3つ以内にしましょう。（その際優先順位をつけてもよい）（1つに絞っていてもよい）
 ③・・・およそ1カ月後に実践を振り返り、継続できたことには「◎」をしましょう。
 ④・・・1カ月以上続けたいときは、この欄に「○」をして継続して、できたとき「◎」にしましょう。
 ★目につく場所に掲示しましょう ★追加したい項目がある場合は、「オリジナル」の欄に記入してください。

		①	②	③	④	項 目
授業のユニバーサルデザイン化	授業の枠組	1				子どもの特性を理解した授業づくりをしている（発達障害の特性や支援方法の理解も含めて）
		2				授業の開始と終了の時間を必ず守っている
		3				「授業のルール」を明示し、年度当初や節目に確認している（返事や発言の仕方・聞く姿勢等）
		4				授業の流れにめりはりをつけ、集中力が途切れないようにしている
	教室環境	5				机や備品が整然と並び、掲示物が整然と掲示されている
		6				黒板まわりに余計な掲示物がなく、すっきりしている
		7				子どもに必要な情報がわかりやすく提示されている（日課表・当番表・授業のルール 等）
		8				教室内が、子どもにとって静かな環境となっている
		9				子どもの作品を大切に扱い、丁寧に展示してある
	学習環境	10				黒板に前時の消し残しがなく、きれいになっている
		11				授業のはじめに、机上に必要な物がそろい、不要な物が置いてないか確認している
		12				「授業の流れ」や「活動の手順とゴール」を示し、見通しがもてるようにしている
		13				座席決めや班編成は、子どもの特性に応じた配慮をしている
	伝え方	14				声の大きさやトーンを、伝える内容によって変えている
		15				指示は、子どもの注意を向けてから、わかりやすい言葉ではっきり短く伝えている
		16				大事なことは板書等で示している（ページ・学習課題・活動の手順とゴール 等）
		17				視覚的な提示を工夫している（実物・写真・ビデオ・図・絵カード・文字カード・表情・動作・指差し 等）
	板書	18				簡単な板書計画を作り、1時間の板書が黒板に収まるようにしている
		19				字の大きさ、色チョークやアンダーライン・囲み等で、見やすさを意識している
		20				ノートに写す時間を確保するなど、子どもの動きを見ながら授業を進めている
		21				残しておきたい内容は模造紙に書くなど、次時を見通した工夫をしている
子どもに寄り添い支えるために	関係づくり	22				笑顔で子どもと接し、日々の対話を大切にしている
		23				子どもを日頃から肯定的にとらえ、「責める」「否定する」「人と比べる」ことはしない
		24				「ありがとう」「助かったよ」と感謝の気持ちを伝えている
		25				「認め合い」「支え合い」を大切にした学級づくりをしている
	意欲	26				子どものわずかな成長や努力を、見逃さず認めるようにしている
		27				子どもの発言やつぶやきを肯定的に受けとめ、授業の中で生かしている
		28				間違えたりうまくいかなかったりする時も、良さや意欲を認めるようにしている
		29				解答が難しそうな子どもには、ヒントを与えたり選択肢を設けたりしている
	評価	30				よい姿は、すぐにほめたり、授業の中で取り上げたりしている
		31				授業や単元の終わりに、よさを認め合う場面を設けている
		32				自己評価ができるように工夫している（授業の終末・単元の終わり・学期末・年度末）
		33				評価を本人と保護者にわかりやすく伝えている（具体例・実物・作品・写真 等）
	オリジナル	追加欄	1			
2						